

## 愛媛支部

### ひめ通研定期総会が行われました

4月29日、松山市総合福祉センターで定期総会が行われました。愛媛県で国体・全国障害者スポーツ大会が開催されるまであとわずかとなり、あいさつや議事の中でもそのことが話題になっていました。質疑応答も活発に行われ、今後のひめ通研の活動や、聞こえない人を取り巻く状況への対応などについて熱心に話し合われました。午後からは、講師に全通研会長 渡辺正夫氏をお迎えし「みんなが輝くために～全通研・みんなの役割～」というテーマでご講演いただきました。ひめ通研の歴史について振り返ったり、人のつながりについて考えたりと、ふだん何気なく見過ごしているようなことについて改めて考える機会となりました。



障がい者やその身近な人が悲しい思いをする事件が起きたり、自然災害の脅威を思い知らされたりと、心の痛むニュースに触れることもありましたが、今年度は明るいニュースが多くなることを願い、仲間とともに歩み続けていきたいと思えます。

### 香通研総会開催

## 香川支部



4月16日（日）高松市総合福祉会館にて定期総会が開催されました。例年、総会への出席者が少なく、「どうすれば会員が出席してくれるか」を検討し、今年度は、総会前の午前中に県聴障協会・近藤龍治理事長による「共に活動するために～聞こえる人に伝えたいこと～」の特別講演を企画しました。未会員の方の参加もあり、大変好評でした。午後の総会は、会員総数76名の内、出席者19名（内 役員12名）。委任状36名。昨年度の総会でいただいたご意見をもとに、今年度は、総会資料を見ただけでは分からない部分の説明をさせていただくなど工夫をしました。総会と言うと敬遠されがちですが、総会に出ると普段会えない人に会えたり、思いがけない情報も入手できます。1年の活動を反省し、新たな活動を生み出す場が総会です。今年度の総会でも、新たな課題に気づくことができました。来年度の総会には、たくさんの会員に出席していただけるよう、新しく始まった2017年度、役員一同力を合わせて邁進していきます。

# あさいと 総会

### とさ通研 総会開催



29年度とさ通研総会が4月16日高知県聴覚障害者情報センターで開催されました。1号議案から第7号議案まで報告され、すべて承認されました。29年度活動方針は、とさ通研も

本部の「長期ビジョン2024」に掲げた「きわめる」「たかめる」「はたらきかける」に沿って提案されました。参加した皆で、次年度に向け他団体とも協力しあいながら活動を継続していこうと新たな気持ちでのスタートとなりました。

午後からは、一般社団法人高知県聴覚障害者協会の理事で、手話対策部長の藤田由紀子氏をお迎えして「聴覚障害者協会の活動と私」と題しまして講演して頂きました。ご自身の母親の子育て論から自分の子育ての中での葛藤、協会活動へと突き進んでいく熱い思い、さらに手話対策部長として手話通訳者に対しての話しもあり、その魅力ある手話表現にどんどんと引き込まれてあっという間の2時間でした。私自身、今後も協会と協力し合って共に活動していきたいと強く思いました。

## 高知支部



### 平成29年度徳通研定期総会

平成29年度の定期総会が5月7日(日)午前10時過ぎに開会。会長挨拶、来賓祝辞は徳聴協理事長代理 戎浩司副理事長から祝辞をいただき、簡単な開会式を行いました。会員出席20人、委任31人で総会の成立を確認しました。会計報告では、決算書にミスがあり、審議を中断。

訂正した決算書で再審議を行いました。役員改選では、これまで北組織部長不在のまま東組織部長が班長を務めておりましたが、会員数も60人を越え、会員同志の話し合いや活動が各組織できちんと機能できるよう部長をやっと選出することができました。午後からは、「全通研がめざす手話通訳制度」の学習会を開催しました。講師は戎会長。ろう協からは5名。通研会員11名が参加しました。3つのグループに分かれ、手話学習や手話通訳で困っていることは？その原因は？対策や解決の方法は？について、当事者からの意見を聞きながら話しあってみました。最後にグループ発表を行いました。ろう者が仲間と学び楽しく深められるように。はじめの挨拶を大切にしたい。現在は、見えない壁がある。なおざりな対応、挨拶をしない。そこから先へは進めない。だからこそ



交流の中で学んでほしいと意見がだされました。

## 徳島支部